

はじめの一步通信

発行・編集 一鍼灸院 三重県名張市丸之内 29-1

一鍼灸院 検索

三重県と鍼灸

私が所属する三重県鍼灸師会は、創立60周年を迎えました。先日、記念式典を開催したのですが、その中で「三重県の鍼灸の歩み」というものをまとめる担当者になり、色々な資料と格闘しながら「CD」を作成しました。鍼灸業界にとって、大きな役割を果たした三重県出身者の業績をみなさまにご紹介したいと思えます。

鍼聖 杉山和一

日本の鍼は、刺入痛を減らす工夫として、鍼管というものを使います。鍼管で皮膚を広げてそこに素早く針を刺すという素晴らしい工夫です。これを発明したのが、津市出身の検査・杉山和一（検査とは、盲人の最高位役職）です。もともと手先が不器用で、覚えも悪かった和一は、師匠に破門を言い渡されます。失意の元、江ノ島弁財天に詣で、断食修行に励みその帰りに山道で転倒したときに手にした松の葉っぱが管に入っているのを見て管鍼法を思いつきます。和一は、盲人教育にも力を注ぎ、世界初の視覚障害者教育施設「杉山流鍼治療引稽古所」を開設し、たくさんの方の優秀な鍼師を世に生み出しました。

石川日出鶴丸博士

世は第二次世界大戦が終わり、アメリカ進駐軍の占領下で、新しい日本の形作りが進んでいた時代です。近代化を進めるのEIOが鍼灸廃止令を検討している中、三重県立医学専門学校校長（現三重大学）の石川博士はEIOに出頭し、鍼の科学的なエビデンスを示し、実際に鍼治療を行なって見せました。それでEIOは納得し態度を一変させ、そこから全国的な鍼灸存続運動に繋がりを、鍼灸廃止令の取下げに至ったそうです。

その後、鍼灸技術の向上や、発展に重要な役割を果たした先輩方が三重県から排出され、現在も活躍されています。この風土を継承し、発展させていくのが私の役割だと感じています。



グラストン学会で発表



当院で治療を受けた方なら一度は経験しているハンギング（腕や足を天井から吊る）、バイブレーション（マッスルガンで振動を入れる）と、グラストン（金属のヘラのような物で筋膜リリースをする道具）を併用した治療方法を発表させて頂きました。九州から北海道までたくさんの方に聴講して頂き、好評を頂きました。今後もこの治療方法を探究し、より効果が高く、患者さんにとって負担の少ない手法に仕上げて行きたいと思っています。



鍼灸師会について



鍼灸師会は、鍼灸師の学術、資質向上を後押し、社会に鍼灸を広める役割を持つ職能団体です。日本全国で仲間が活躍し、後進の育成や、広報普及活動に励んでいます。日本鍼灸師会は70年、三重県鍼灸師会は60年の歴史があり、私は広報担当として、忙しく活動をさせていただいています。関わり出して約15年、様々な歴史の転換点に立ち合い、貴重な経験をさせて頂いています。得た経験や知識は、日々の臨床にもフィードバックしています。

今回作成したVTRは、YouTubeでご覧いただけますので、ぜひ一度ご視聴ください。



スマホのカメラで読み込んで下さい